

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
レンゴー株式会社	代表取締役会長兼社長	大坪 清	大阪府	板紙・段ボール製造業	https://www.rengo.co.jp/index.html

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月19日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。特に手降ろし作業はパレット荷役への変更を取引先に交渉し、トラック運転手の作業負担を軽減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する場合に、物流事業者や着荷主の準備時間を確保するため、入出荷情報等を早めに提供します。 ・着荷主に対し、できる限り早い発注を求めています。
4	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から幹線輸送部分と集荷配送部分の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。また自らも積極的に提案します。
5	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	・物流事業者から運転業務と運転以外の附随作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。 ・先方ライン近くへの横持ちや2階上げなどの縦持ち、カンバンつけ、結束紐・PPバンドのカット及び持ち帰りなどの附随作業をなくすよう取引先に理解を求めます。
6	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
7	A ⑨	荷主側の施設面の改善	・倉庫等の物流施設の集約・増設・レイアウト変更等を行い、荷待ち時間や荷役時間を短縮します。 ・取引先(着荷主)にも置場を確保いただき、多頻度少量の納入解消に努めます。
8	A ⑩	リードタイムの延長	トラック運転者が適切に休憩を取りつつ運行することが可能となるように、発荷主としての出荷予定時刻を厳守します。また、取引先と協力して幅を持たせた到着時刻を認めることなどにより十分なリードタイムを確保します。
9	A ⑫	混雑時を避けた配送	・道路が渋滞する時間や着荷主側の混雑時間を避けるため、出荷時間や納品時間を分散させます。 ・朝一届を出来るだけ減らし、納品時間を分散します。
10	A ⑬	発注量の平準化	・荷待ち時間を短縮するとともに、運行効率を向上させるため、曜日波動や月波動などの繁閑差を平準化します。
11	A ⑮	納品日の集約	取引先から隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。納品日の集約により製造ならびにトラック運転手の生産性向上を図ります。
12	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。また、取引先と協力して、荷降ろし時の危険箇所・危険作業をなくすよう取り組みます。
13	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
PR欄			当社は、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」= GPIレンゴーとして、パッケージづくりを通じて、物流と暮らしの豊かさを支えています。これからも、モーダルシフトなど、物流効率の向上や輸送におけるCO2排出削減とともに、持続可能な物流の実現のために、サプライチェーン全体の生産性向上に向け、包装業界のリーディングカンパニーとして、取引先や物流事業者と協力し、「ホワイト物流」推進に積極的に取り組んでまいります。